

(様式6)

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成19年12月29日

【評価実施概要】

事業所番号	2873002691		
法人名	有限会社シニアケア		
事業所名	シニアケア塚口		
所在地	兵庫県尼崎市南塚口町8丁目3-15 (電話)06-6428-2945		
評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成19年11月12日	評価確定日	平成20年1月23日

【情報提供票より】 (19年10月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	37020		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	27 人	常勤8人, 非常勤19人, 常勤換算14.3人	

(2) 建物概要

建物構造	木造ラスモルタル 造り		
	2階建ての	1~2階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	80,000 円	その他の経費(月額)	22,400 円	
敷金	有() 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	0 円	昼食	0 円
	夕食	円	おやつ	0 円
	または1日当たり 1,150 円			

(4) 利用者の概要 (10月30日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	2	要介護2	3		
要介護3	8	要介護4	3		
要介護5	2	要支援2	-		
年齢	平均 83.8 歳	最低	72 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北村クリニック・高田循環器内科・大塚整形外科・徳永歯科クリニック・上原口泌尿器科・おおくまりハビリテーション病院
---------	--

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>利便性が良く恵まれた環境に位置し、開設当初より地域と「支え、支えられる関係」を大切にしているホームである。職員は日々の暮らしの中で、地域密着型サービスとしての機能や役割が果たせるよう地域にむけた積極的な働きかけがあり、家族会を中心に地域住民への参加を呼びかけた学習会の開催や、地域と合同で行った餅つきや消防訓練、地域老人センター活動への参加等の取り組みを実践している。職員は「毎日の暮らしの中に安心と楽しさを」の考えのもと、入居者一人ひとりの個性を尊重し、ゆったりと自由な生活・生き生きとした生活が送れるよう、常に本人の思いや意向を把握すよう努め、さりげない見守りや手助けとともに多面的な支援ができるよう取り組んでいる。</p>

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)</p> <p>職員は評価の意義や目的を理解し、職員間で評価結果について話し合いサービスの質の確保に反映している。また運営推進会議や家族会・ホーム新聞を通じて評価結果を地域や家族に向けて公表している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)</p> <p>自己評価は非常勤も含む全職員が評価に取り組み、日々実践しているケアを振り返り確認するきっかけとなっている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)</p> <p>会議ではホームの運営方針・ホームの現状・年間行事等を報告し参加者間で意見交換している。今までに出された意見を具体的に検討し、家族会や地域住民の協力で、近隣公園にて「餅つき」を実施する事ができ、会議での提案を具体的な取り組みにつなげている。市との関わりとしてヘルパー養成講座や介護者研修の実習の受託を通じて連携を図り、市内のグループホーム連絡会でのつながりも継続している。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)</p> <p>家族が気軽に訪問し話しやすい環境を整えている。毎月1回入居者の生活状況・健康状態・連絡事項等分りやすく記載した報告書を家族に送付し、ホーム新聞の配布もある。運営推進委員会への家族の参加を支援し、自由に意見を出してもらえるよう働きかけている。重要事項説明書に苦情相談窓口を明示し入居時に説明すると共に、玄関に意見箱の設置がある。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)</p> <p>開設当初より地域に向けた働きかけがあり地域役員との交流が継続している。地域老人センター活動への参加を積極的に支援し、家族会を中心に地域住民の参加や協力のもと、成年後見制度や感染症予防等について学習会を開催している。近隣住民がそれぞれの趣味や特技等を生かしホームとの関わりを継続している。</p>

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初より地域と共に支え支えられる関係を構築し「地域と共に育てていく」「なじみを大切にする」の理念をかがげ、地域密着型サービスとしてのホームの役割が果たせるよう取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は職員の手作りの木製ボードに明示し、玄関の見やすい所に掲示され親しみやすさに配慮している。申し送りやカンファレンス等を通じ日常的に話し合うよう努め、非常勤の職員も含めた全ての職員が理念を理解し、常に意識して働いていくよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	管理者・職員は地域交流の意義や必要性を理解し、開設当初より地域に向けた働きかけがあり地域役員との交流が継続している。地域老人センター活動への参加を積極的に支援し、家族会を中心に地域住民の参加や協力のもと、成年後見制度や感染症予防等について学習会を開催している。近隣住民がそれぞれの趣味等を生かし創作生け花や牛乳パック再利用での作品を持ってくるなど来訪の機会もある。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員は評価の意義や目的を理解し、前回評価は職員間で結果について話し合いサービスの質の確保に反映している。評価結果は運営推進会議や家族会・ホーム新聞を通じて報告している。自己評価は非常勤も含む全職員が評価に取り組み、日々実践しているケアを振り返り確認するきっかけとなっている。</p>		
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在までに4回実施しており町会長・民生委員・保護司・市職員・地域包括支援センター職員・家族代表等の参加がある。討議内容としては運営方針・ホームの現状・年間行事・評価結果等を報告し、参加者間で意見交換している。今までに会議で取り上げられた意見を具体的に検討し、家族会や地域住民の協力で近隣の公園にて「餅つき」を実施する事ができており、会議での提案を具体的な取り組みにつなげている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>法人内にヘルパー養成所があるため、シルバー人材センターヘルパー養成講座や介護者研修の実習の受託を通じて連携を図っている。また市内のグループホーム連絡会での関わりを保っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族が気軽に訪問しやすいよう環境を整え、本人の日頃の状況を報告すると共に、家族からの情報の把握にも努めている。毎月1回入居者の生活状況・医療面等健康状態・連絡事項など分りやすく区別して記載された報告書を家族に送付すると共に、個人情報の取り扱いに配慮しながら月1回ホーム新聞を発行し配布している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進委員会への家族の参加を支援し、自由に意見を出してもらえよう働きかけている。家族会開催時にはホーム職員を交えず話し合う機会があり、家族からの率直な意見を聞き対応していく取り組みがある。重要事項説明書にホームの苦情相談窓口や外部相談機関を明示し入居時に説明すると共に、玄関にも意見箱を設置している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>現在常勤職員の入れ替わりは少ないが、異動があった場合は家族へ連絡すると共に入居者へのダメージが最小限になるよう努めている。各ユニットの責任者を中心に入居者とのなじみの関係を大切にしたケアに配慮しているが、月に数回ホーム全体での職員のローテーションがあり、職員が入居者全体の状況を把握し緊急時に迅速に対応できるよう取り組んでいる。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修・現任研修等職員の個々の資質やキャリアに応じた研修が受けられるよう取り組んでいる。法人内にホームヘルパー養成所があり、内部研修やOJTの機会を持ち、職員間での意識向上に繋げている。		職員一人ひとりのモチベーションを更に高め、確実なスキルアップの為に年間の研修計画の策定が望まれる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム連絡会に所属し3ヶ月に1回の役員会に参加すると共に2ヶ月に1回の討論会では職員の参加する機会も設けている。交換研修・テーマを決めた学習会等の企画があり、積極的に参加するよう取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前より見学や面談の機会を持ち、本人や家族の不安がないよう十分話し合うよう努めている。入居者が徐々に馴染めるようデイサービス利用や家族の宿泊等も可能で、安心感をもって納得のいくサービスの活用ができるよう支援している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活での家事の場面やアクティビティにおいて、職員と入居者が共に過ごす時間を大切にしながら、教えあい支えあう関係が持てるよう配慮している。食事作りでの味付けや梅シロップの作り方等を教えてもらい、若い職員へ調理法を伝えるなど、入居者がそれぞれの力量を発揮してもらえよう場面作りに取り組んでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者はホームの暮らしの中で思いや希望を職員に自然な形で伝えている場面が見られ、職員は本人の気持ちにそった支援ができるよう努めている。また入居者同士の何気ない会話の中から、本人の思いを汲み取れるよう心掛けている。意思表示が困難な場合は、家族からの情報を参考にするとともに、非言語コミュニケーションも使い、入居者の思いを把握できるよう取り組んでいる。本人の希望や意向について、確認できた事は記録に残し職員間で共有化し、ケアに反映できるよう工夫している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>フェイスシート等を参考に、本人・家族の意見や思いを把握し、担当職員が介護計画の原案を作成した後、職員間で話し合い入居者本位の計画になるよう取り組んでいる。作成された計画は家族に説明し同意をもらうよう働きかけ、同時に家族からの意見も聞けるよう配慮している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月実施しているカンファレンスで計画の見直しについて検討しているが、定期的には3ヶ月に1回の見直しを行っている。入居者の状態変化や家族の要望に応じた見直しも随時行い、実践的な対応ができるよう配慮している。</p>		<p>安定している入居者の場合でも、計画にそったケアができていないか、状態変化の兆候がないか等、月に1回程度は計画の見直しをする事が望ましい。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々^の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者や家族の現状やニーズにそった支援が行なえるよう努めており、共用型認知症対応型通所介護の利用や医療連携体制加算を導入している。かかりつけ医受診への付き添いの支援、入居者の入院時の面会を通じて早期退院への支援を行っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携体制にて24時間相談可能な協力医との連携がある。月1回の定期検診や入居者の状態に応じた往診・通院を実施している。看護師（非常勤）による日々の健康状態のチェックや医療機関への相談等の支援が確保されている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化に対するホームの方針について文書にて入居時に家族に説明し同意を得ている。現状に応じて家族の意向を確認しながら方向性を統一していく為に、その都度話し合いを重ねていくよう努めている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>契約書に秘密保持について明記し家族に説明しており、ホーム新聞に掲載する入居者の写真については家族の了解を得ている。職員は記録時において周囲へ配慮するとともに、書類などは事務所に保管する等秘密保持を徹底している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活での食事・入浴・散歩等で自己の思いを表現できる機会が持てるよう働きかけ、本人の思いにそった支援を心掛けている。日常生活の中で入居者がその人らしい暮らしができるよう、状況によっては個別対応する等の支援を行っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買物は職員が行い、入居者の要望を取り入れながら献立を考えており、食事作り・配膳・後片付け・おやつ材料を買いに行く等は入居者とともにできるよう配慮している。食事時間を楽しむ為に外食やお弁当を取り入れ変化をもたせている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1週間に4回以上は入浴ができるよう配慮しながら、曜日や時間帯が個々の入居者の希望にそえるよう対応している。入浴拒否者への対応は職員間で検討し、その場のタイミングに合わせた対応を行い、現在拒否傾向のある人は少ない状況である。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家族やボランティアの協力にて刺し子・歌・百人一首・絵を書く等、得意だった事や好きだった事を把握しながら個々に支援している。入居者の作品である日本人形やデッサン等の作品をホーム内にさりげなく飾り、楽しみや張りのある生活になるよう工夫している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の外出や散歩が継続できるよう1日の中に外出介助の時間を設けている。1年を通じて行事などでの遠出の外出や特別な外出等は家族の協力を得て希望にそえるよう配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム周辺に県道がある為、安全面に配慮し玄関は簡単なロックでの施錠となっているが、入居者が閉塞感を感じないように、外へ出る様子を察知したらできる限り希望にそえるよう努めている。玄関以外は施錠はなくベランダ等へ自由に出て草花の世話や日光浴など自由に過ごせるよう配慮している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害等での緊急時の避難経路を確保しマニュアルを整備しており、年1回実施している消防訓練は近隣の人々の協力が得られるよう取り組んでいる。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る</p>	<p>職員の中に栄養士や調理師の有資格者がお り、栄養のバランスに配慮した献立を作成 し、入居者の健康状態や好みに応じた対応も 適宜行っている。食事は入居者ごとに記録 し職員間で状況を共有している。水分摂取に 関しては毎食後やおやつ後の確実な摂取を支 援すると共に夜間の水分補給にも配慮してい る。必要性がある場合は水分量の記録も残し ている。</p>		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>建物周囲や玄関周辺では季節の花を育て、 ホーム内は入居者・職員の作品を家庭的な雰 囲気を壊さないよう配慮しながら飾ってお り、居心地よく安らげる生活空間となってい る。リビング等共用の場において、椅子やソ ファを設置し、和室のコーナーを設け、一 人や数人でゆったり過ごす場所を確保してい る。床暖房やエアコンで温度調節すると共 に、空気除菌清浄機の設置や窓の開閉等で換 気に配慮し、気になる臭い等はなかった。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は本人や家族の意向をもとに仏壇・使い慣れたタンス等を持ち込み、安心して過ごせる環境となるよう配慮している。入居者の身体状況や希望によりベットを設置するか、布団を利用するかを定めるよう取り組んでいる。居室からベランダに自由に出て、草花を育てたり日光浴を楽しんだり思い思いに過ごせるよう支援している。		

は、重点項目。